

拠出金名: アジア太平洋経済協力拠出金

国際機関等名	アジア太平洋経済協力 (略称) APEC					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	経済産業省地域協力課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注2)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	229,329	1,879		1\$ = 122円	(2002年) 18.0	100
平成13年度	225,723	2,109		1\$ = 107円	(2001年) 18.0	100
平成12年度	225,242	2,145		1\$ = 105円	(2000年) 18.0	100
	(注1)					
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの	
1位	日本・米国		18.0			
2位	カナダ		9.8			
3位	豪州		7.1			
4位	中国		6.8			
5位	韓国		5.6			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
我が国はAPECをアジア太平洋地域の経済面での協力の中核として重視。APECの活動の柱である貿易・投資の自由化及び円滑化、経済・技術協力のためのプロジェクト実施促進に向けて、我が国が通常及び任意拠出を行うことは極めて有意義と考える。また、APECへの最大の拠出国として、我が国はAPECの財政事項を決定する「財政管理委員会」において、強い発言権を有する。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
APECプロジェクト及び会合数の増加に鑑み、98年より3年間、マレーシア、NZ、ブルネイが中心になり、マネージメント改革を行った。この結果、不要と思われる作業部会が随時廃止されるようになり、また、新規に恒久的な作業部会を設置することについてモラトリアムが合意された。我が国は組織の煩雑化を避けるとのAPEC全体の方針を評価しており、今後とも簡素化にむけ協力していく方針。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 2 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		課長職: 23人のうち 8.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
課長(事業評価担当)		和田 雅典		外務省より出向		
課長(貿易投資委員会等担当)		藤野 琢巳		経済産業省より出向		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 経済産業省拠出分のみ。我が国の拠出額負担内訳は、外務省45%、経済省40%、財務省15%

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。